

# 社会科標準問題

令和2年度

---

注意

1. 問題は1から10までであるが、そのうち5題を解答すること。どの5題を解答するかは学校の指示に従うこと。
2. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に指示通り記入すること。
3. 所要時間は50分とする。
4. 解答用紙の選択した（または指定された）問題番号の□に○を記入すること。

1 歴史資料に関する次の説明文を読み、下の設問に答えよ。

『対比列伝（英雄伝）』の著者とその内容の説明

（ア）は、ボイオティア地方の(a)カイトネイアの名門の家に生まれた。紀元後66年にアテナイで弁論術、哲学、医学などを学んだとされる。その後、(b)ギリシア各地、小アジア、(c)エジプトのアレクサンドリアなどを旅して回り、勉学の完成を図った。

彼は、カイトネイアで教育に従事する一方、この町の代表使節としてローマへ赴き、(d)当時のローマの皇帝の知温を得て、各界の要人と交わりをもった。また次の皇帝のハドリアヌス帝の治世にアカイア州の知事になり、(イ)が行われたデルフォイの神官職をつとめ、デルフォイ神殿の復興に貢献した。

彼の著書である『対比列伝』は、(e)有名な軍人や政治家の伝記で、原則的には、まずギリシア人、次いでローマ人というふうには2人のよく似た人物の生涯を並べて描き、最後に比較対照を付すという形をとっている。現存するのは23組の対比列伝と、比較される相手がなく単独で描かれる4人の伝記である。

『歴史』の著者の説明とその内容の説明

ヘロドトスに関しては、ビザンツ帝国の事典『スウダ』の「ヘロドトス」の項に記されている。前484年頃に、小アジアの沿岸のハリカルナッソスに生まれたとされ、青年時代には精力的に各地を旅行してまわった。初期の旅でも黒海地方へ行き、南岸、西岸をまわり、その後も、海路でシリア沿岸に至ったとされる。その後(f)（ウ）まで訪れたかは諸説あるが、(g)パレスチナやエジプトには一度は訪れたとされる。

前450年頃にアテネに訪れたヘロドトスは、しばらくその地に住み着き、『オイディプス王』を書いた悲劇詩人の（エ）と親交を結んだとされる。またアテネの政治家(h)ペリクレスとも親交があったとされるが、これはあまり確かではない。

彼の著書である『歴史』は、9巻に分かれおり、主題である(i)ペルシア戦争は、その前史も含めて、巻5から巻9に叙述されている。巻2では、カンピュセスのエジプト遠征にちなんでエジプトの国土とその習俗のことが詳述され、河（ナイル）の賜物という言葉もこの巻に見ることができる。

問1 文中の（ア）と（イ）に入る人名、または内容の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから1つ選べ。

- ① （ア）—ポリビオス （イ）—アポロン神の神託
- ② （ア）—ポリビオス （イ）—ミトラス神の聖牛供儀
- ③ （ア）—プルタルコス （イ）—アポロン神の神託
- ④ （ア）—プルタルコス （イ）—ミトラス神の聖牛供儀

問2 文中の（エ）に入る人名として正しいものを、次の①～④のうちから1つ選べ。

- ① アイスキュロス                      ② ソフォクレス
- ③ アリストファネス                    ④ エウリピデス

問3 下線部(a)のこの地で起こったできごととして正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

- ① ローマのスキピオが、ハンニバル率いるカルタゴ軍を破った。
- ② ササン朝ペルシアのシャープール1世がウァレリアヌスを破った。
- ③ アレクサンドロスが、エジプトの征服前に、ダレイオス3世を破った。
- ④ フィリッポス2世が、テーベとアテネの連合軍を破った。

問4 下線部(b)に関連して、エーゲ文明について述べた次の文X、Yの正誤の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから1つ選べ。

X クレタ文明は、エトルリア人が北方から侵入し、破壊された。

Y ミケーネ文明は、鉄製武器を使用し、各都市が強固な城塞を構え、覇を争った。

- ① X－正 Y－正      ② X－正 Y－誤      ③ X－誤 Y－正      ④ X－誤 Y－誤

問5 下線部(c)について述べた次の文の空欄（オ）と（カ）に、適切な語句を入れよ。ただし、（カ）は漢字2字で答えよ。

エジプトのアレクサンドリアは、プトレマイオス朝の都で、ヘレニズム文化の一大中心地となり、王立研究所である（オ）が建てられた。（ア）が訪れたときのエジプトは、「アエギュプトゥス」と呼ばれ、シチリア島と同じく、ローマ帝国の支配する（カ）であり、アレクサンドリアは、その中の一都市であった。

問6 下線部(d)の人物について述べた文として正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

- ① ギリシア語で『自省録』を著した。
- ② 帝国領内の全自由民に市民権を与えた。
- ③ ダキアを得て、一時はメソポタミアの征服にも成功した。
- ④ ローマ市大火の犯人としてキリスト教徒を迫害した。

問7 下線部(e)に関連して、下の資料は『対比列伝』の一節で、第一回三頭政治を担ったある人物について記述した部分の抜粋である。文中の（キ）、（ク）に入る人名の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のうちから1つ選べ。

籤引きの結果は、誰にとっても満足できるものだった。市民の多くはポンペイウスがローマから遠く離れてしまうのを望んでいなかったし、ポンペイウス自身も妻への愛着から少しでも長く市内に留まっていたと考えていた。一方（キ）は籤引きの結果が出るやいなや満面に喜びの色を浮かべ、これ以上にすばらしい幸運はないと感じているのがありありと見て取れた。外国人の前であれ公衆の中であれ黙ってられないといったようす

で、親しい人と顔を合わせたときには、自分の年齢や性格に似合わぬまるで子供のようなお喋りを繰り出したのである。それまでの人生で威勢を張ったり大口をたたいたりしたことなどついぞなかった（キ）が、このときはすっかり有頂天になって自分を見失っていた。我が勝利をシリアやパルティアで終わらせるつもりはない、ルクルスのティグラネス征討もポンペイウスのミトリダテス征伐もままごとのようなものだと豪語し、あげくにバクトリアやインドや外側の海まで思いを馳せていたのである。

このとき決議された法に、パルティア人との戦争のことが記されていたわけではない。だが（キ）がそれに向けて気負い込んでいるのは誰もが知っており、（ク）もガリアからの書簡を寄越して（キ）の熱意を賞賛し、遠征への励ましを書き連ねていた。

- ① （キ） — カエサル      （ク） — レピドゥス
- ② （キ） — カエサル      （ク） — クラッスス
- ③ （キ） — レピドゥス    （ク） — カエサル
- ④ （キ） — レピドゥス    （ク） — クラッスス
- ⑤ （キ） — クラッスス    （ク） — カエサル
- ⑥ （キ） — クラッスス    （ク） — レピドゥス

問 8 下線部(f)に関連して、（ウ）には都市名が入り、『歴史』では、その都市について以下のように記されている。（ウ）に入る都市名を答えなさい。

卷一〔一七八〕

キュロスは大陸\*をことごとく自分の支配下に収めると、今度はアッシリアの攻撃にむかった。アッシリアには大きな町があまたある中で、最も名高くまた最も要害を誇り、さらにニノス（ニネヴェ）が荒廢に帰した後王宮の所在になっていたのは（ウ）である。

卷一〔一八〇〕

（ウ）の町は二つの部分に分かれている。というのは町の中央をユーフラテスという河が流れて、町を仕切っているからであるが…（略）

\*「大陸」とは、実際にはいわゆる小アジア一帯を指すと解される

問 9 下線部(g)に関連して、パレスチナ、エジプトの歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

- ① ヘブライ人の王国は、ソロモン王の死後分裂し、北部にユダ王国ができた。
- ② ダレイオス1世により、バビロン捕囚から解放されたユダヤ人は、イェルサレムに戻り神殿を建てた。
- ③ 東方からエフタルがエジプトに侵入し、一時期エジプトを支配した。
- ④ エジプト新王国のラメセス2世は、シリアをめぐり、ヒッタイトと争った。

問 10 下線部(h)に関連して、下の資料は、下の資料は『対比列伝』の一節で、ペリクレスがファビウス=マクシムスと比較されている部分の抜粋である。この資料に関する(1)(2)の設問に答えよ。

ペリクレスの政治において、戦争が非難的になっている。戦争という戦争はすべて彼に起因している、なぜなら、(ケ)に覇権を渡すまいと、意地を張ったせいだという。ファビウス=マクシムスもカルタゴ人には譲るまいとしたと私は思うが、彼は覇権に伴う危険に立派に耐え通した。しかしながら、ファビウスがミヌキウスに対してとった公正にして穏やかな態度に照らして、ペリクレスがキモンやトゥキュディデス\*のような、高貴の家の出ですぐれた人間を、(コ)によって失墜させたのは、派閥意識による振る舞いだと非難される。しかしペリクレスの権力と実力はファビウスよりも大きかったのである。

\*その頃の将軍 同名の歴史家とは別人

(1) 文中の(ケ)に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから1つ選べ。

- ① スパルタ人                      ② テーベ人
- ③ マケドニア人                  ④ ペルシア人

(2) 文中の(コ)には、当時アテネで行われていたある制度名が入る。この制度では右の写真が、投票の際に使用された。(コ)に入る語句を答えよ。



問 11 下線部(i)に関連して、ペルシア戦争に関連する次の出来事を年代の古い順に正しく並べたものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

- A アテネ海軍が主力となって、サラミスでペルシア海軍を撃退した。
- B アテネ・スパルタ連合軍がプラタイアで、ペルシア軍を撃退した。
- C ミレトスを中心とするイオニア地方が反乱を起こした。

- ① A → B → C                      ② A → C → B
- ③ B → A → C                      ④ B → C → A
- ⑤ C → A → B                      ⑥ C → B → A

2 次の文章A、Bを読み、下の設問に答えよ。

A 2019年4月15日夜（現地時間）フランス有数の観光名所である(a)パリのノートルダム大聖堂で大規模な火災が発生したニュースは記憶に新しいであろう。ノートルダム大聖堂は、1163年に着工され、1345年に完成した(b)ゴシック様式の代表的建造物のひとつである。当時の関係者は、「現代様式」や「フランス様式」と呼んでいたが、15～16世紀のルネサンス期のイタリア人は、この様式を軽蔑の意味を込めて「野蛮な」(c)ゴート人の様式、すなわちゴシックと呼んだ。

ゴシック様式の教会建築が誕生したのは、パリ近郊のサン=ドニと言われ、その後、12世紀後半から13世紀にかけて各地の司教座都市を中心に大聖堂の建設ラッシュがはじまった。その背景には、まず都市の急速な発展が挙げられる。貨幣経済の進展、経済活動の活発化に伴い、都市人口は急速に増えていった。また、大聖堂建設のための主要資源は、農村からも汲み上げられた。農村は、(d)12世紀の中頃から農業発展の加速によって以前よりも豊かになり、教会および高位聖職者の経済的基盤となっていった。

問1 下線部(a)について述べた次の文①～④の中から誤っているものを1つ選べ。

- ① ロワール川沿いの都市である。
- ② かつてルテティアと呼ばれていた。
- ③ ユーグ=カペーは、パリ伯であった。
- ④ パリ大学は神学の中心地であった。

問2 下線部(b)の様式の建築物を次の①～④の中から1つ選べ。

①



②



③



④



問3 下線部(c)について述べた 次の文X・Yについて正しい組み合わせを1つ選べ。

X 西ゴート人は、4世紀にフン人の圧迫からローマ帝国領内に移動し、このことがゲルマン人の移動の一因となった。

Y 東ゴート人は、5世紀にアヴァール人の支配を脱し、テオドリックの下、イタリアに移動し東ゴート王国を建てた。

- ① X－正 Y－正    ② X－正 Y－誤    ③ X－誤 Y－正    ④ X－誤 Y－誤

問4 下線部(d)の要因として関係のないものを1つ選べ。

- ① 三圃制の普及  
② 重量有輪犁の使用  
③ テマ制の進展  
④ 修道院による開墾運動

B ノートルダム大聖堂のあるシテ島には、もうひとつゴシック様式の聖堂がある。(e)ルイ9世が1239年に(f)ラテン帝国皇帝から購入した聖遺物(イエスが被せられたいばらの冠)をおさめるために建設したサント=シャペルである。サント=シャペルも含め、各地でゴシック様式の大聖堂が次々と建立されていったのは、(g)フランス王権の伸張の時期にも当てはまる。

このようなゴシック様式とほぼ同時期に興隆したのが(h)スコラ学である。ゴシック様式とスコラ学の関連性は既に指摘されているところであるが、双方に共通しているのは、(i)中世特有の調和の精神であろう。

問5 下線部(e)の国王の時代の王朝を次の①～④のうちから1つ選べ。

- ① カロリング朝  
② カペー朝  
③ ヴァロワ朝  
④ ブルボン朝

問6 同じく下線部(e)の人物に関係するものを次の①～④のうちから1つ選べ。

- ① アルビジョワ十字軍  
② 国土回復運動(レコンキスタ)  
③ 東方植民  
④ ロンバルディア同盟

問7 下線部(f)について述べた次の文章中の空欄(ア)と(イ)に入れる語の組合せとして正しいものを次の①～④のうちから1つ選べ。

ラテン帝国は、(ア)商人の要求に迫られ、結果として第4回十字軍が(イ)を占領して建てた十字軍国家である。

- ① (ア)－ヴェネツィア      (イ)－イェルサレム  
② (ア)－ヴェネツィア      (イ)－コンスタンティノーブル  
③ (ア)－ジェノヴァ      (イ)－イェルサレム  
④ (ア)－ジェノヴァ      (イ)－コンスタンティノーブル

問8 下線部(g)に関連する次の文A～Cが年代の古いものから順に正しく配列されているものを下の①～⑥のうちから1つ選べ。

A 身分制議会である三部会がフランスで初めて招集された。

B 教皇庁がローマからアヴィニョンに移された。

C イングランド王ジョンが所有していた大陸領土を奪いフランス王領地が拡大した。

① A → B → C            ② A → C → B

③ B → A → C            ④ B → C → A

⑤ C → A → B            ⑥ C → B → A

問9 下線部(h)に関連して述べた次の文①～④の中から誤っているものを1つ選べ。

① 実在論と唯名論が対立する普遍論争がおこった。

② スコラとは教会・修道院に付属した「学校」を意味することばである。

③ トレドでラテン語に翻訳された古代ギリシアの文献の影響を受けた。

④ ロジャー＝ベーコンは理性と信仰を分離し、近代合理論への道を開いた。

問10 下線部(i)をスコラ学において大成したとされるトマス＝アキナスについて述べた次の文X・Yについて正しい組み合わせを1つ選べ。

X アリストテレス哲学による理性とキリスト教神学の信仰の調和をめざした。

Y 代表的著作は中世キリスト教神学を体系的に解説した『神の国』である。

① X－正 Y－正    ② X－正 Y－誤    ③ X－誤 Y－正    ④ X－誤 Y－誤



3 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

アメリカの社会歴史学者ウォーラーステインが1974年に発表した「世界システム論」は現在のグローバルヒストリーの先駆けであった。西ヨーロッパは、(a) 1450年ごろから1620年ごろまでの「長期の16世紀」に、世界経済の「中核」となり、(b) 東ヨーロッパやアメリカ大陸を「周辺」として経済的に従属させ、世界的な分業体制を確立した。やがてはその資本主義世界経済、すなわち世界システムが地球全体に拡大していった。世界システム論はその形成の過程とその後の変容を説くものであった。

ウォーラーステインは「中核」諸国のなかで、圧倒的な経済力を確立した国を「覇権（ヘゲモニー）国家」と呼んでいる。その最初は17世紀中期の(c) オランダである。オランダは、麻、ホップや園芸作物などに特化した集約農業をおこない、自国で生産しない穀物は、バルト海貿易により(d) ポーランドよりライ麦を輸入した。さらにバルト海方面から輸入されるオーク材は、安上がりな造船を可能にし、(e) 造船業を発展させた。これらに加え、製糖業や(f) 毛織物業でも中心となっていた。(g) オランダは1602年に東インド会社、1621年に西インド会社を設立して、世界各地に進出した。覇権を確立し圧倒的な競争力を誇ったため、他の「中核」諸国が(h) 重商主義政策を展開する時代に、(i) オランダは自由貿易を唱えた。こうした遠隔地商業の発展は、保険業などの金融業を発展させ、首都は金融の中心となった。

しかし、オランダの覇権は17世紀末以降に衰退し、(j) その後1世紀におよぶイギリスとフランスによる覇権争いののちに、19世紀にイギリスが新たな覇権を確立するのである。こうした覇権国家の興隆と交替によって、ウォーラーステインは世界システム内部でのダイナミズムを描き出した。

問1 下線部(a)について、この時期の西ヨーロッパでの出来事の説明として正しいものを次の①～④より選べ。

- ① イギリスでは、エリザベス1世が首長法を発布した。
- ② フランスでは、フランソワ1世の時代に三部会の招集が停止された。
- ③ 神聖ローマ帝国では、ミュンツァーが指導するドイツ農民戦争がおきた。
- ④ スペインのカルロス1世は、ポルトガルを併合し、「太陽の沈まぬ国」を築いた。

問2 下線部(b)について、16世紀の東ヨーロッパやアメリカ大陸の状況について述べた次の①～④のうち誤っているものを選べ。

- ① 東ヨーロッパで、再版農奴制により農民の賦役労働や人格的支配が強化された。
- ② ロシアでは、農奴制強化策に対してプガチョフの農民反乱がおこった。
- ③ アメリカ大陸では、スペインのコルテスによってアステカ王国が滅ぼされた。
- ④ アメリカ大陸では、ラス=カサスがインディオへの虐待を非難した。

問3 下線部(c)について、オランダ独立に関する次のA～Cを正しく年代順に配列したものは①～⑥のどれか。

A ユトレヒト同盟の結成

B 南部10州の離脱

C スペイン無敵艦隊の敗北

① A→B→C      ② A→C→B

③ B→A→C      ④ B→C→A

⑤ C→A→B      ⑥ C→B→A

問4 下線部(d)について、ポーランドについて述べた次のX・Yの波線部の正誤の正しい組み合わせは次の①～④のどれか。

X 16世紀にヴァロワ朝が断絶すると選挙王制が導入された。

Y 第2次ポーランド分割ののち、ステンカ=ラーヂンは独立をめざして蜂起した。

① X-正 Y-正      ② X-正 Y-誤      ③ X-誤 Y-正      ④ X-誤 Y-誤

問5 下線部(e)について、17世紀後半にオランダやイギリスを視察して造船業などの技術や学問を学び、西欧化につとめたロシアの皇帝はだれか。

問6 下線部(f)について、ヨーロッパの毛織物工業について述べた次の①～④のうち、正しいものを選び。

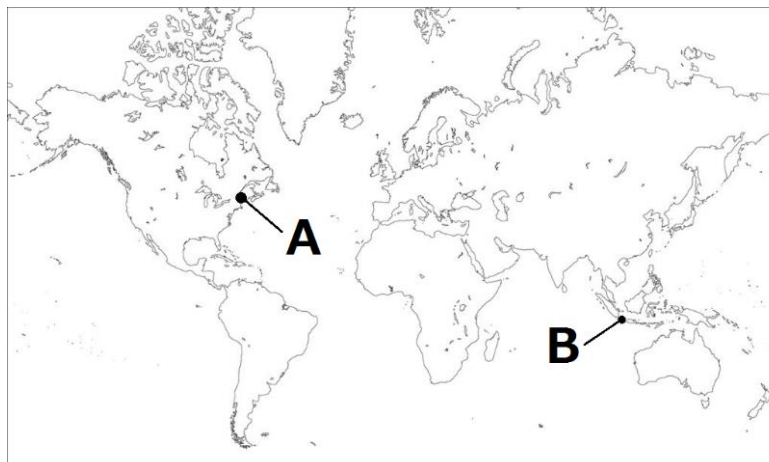
① 百年戦争は毛織物の一大生産地であったフランドル地方をめぐる争いであった。

② マニファクチュア（工場制手工業）は、オランダの毛織物生産の分野で始まった。

③ イタリアの中部の都市ジェノヴァは、遠隔地貿易に加え、毛織物業と金融業で栄えた。

④ 大西洋の三角貿易によって、毛織物はアフリカに大量に輸出された。

問7 下線部(g)について、下の地図中にAとBで示したオランダの貿易拠点の名称として正しい組み合わせは次の①～④のどれか。



① A-ニューアムステルダム      B-バタヴィア

② A-ニューアムステルダム      B-台湾

③ A-ケベック      B-バタヴィア

④ A-ケベック      B-台湾

問8 下線部 (h) について述べた次の X・Y の正誤の正しい組み合わせは次の①～④のどれか。

X 官僚制と常備軍を維持するための財源を確保するための政策であった。

Y 貿易による利益を確保するため、国内産業の保護・育成をおこなった。

- ① X－正 Y－正    ② X－正 Y－誤    ③ X－誤 Y－正    ④ X－誤 Y－誤

問9 下線部 (i) について、『海洋自由論』のなかで海洋航行の自由を主張し、「国際法の祖」とよばれたオランダの法学者・政治家は次の①～④のどれか。

- ① エラスムス    ② スピノザ    ③ レンブラント    ④ グロティウス

問10 下線部 (j) について、次の①～④のうち内容が正しいものを選べ。

① フランスは、スペイン継承戦争を優位にすすめ、イギリスから海外領土を獲得した。

② フランスはアンボイナ事件によって、イギリスをモルッカ諸島から追い出した。

③ イギリスは、フレンチ=インディアン戦争後のパリ条約により、ミシシッピ以東のルイジアナを失った。

④ イギリスはブラッシーの戦いでフランスを破り、インドでの優位をかためた。

- 4 次の説明文 I～V に関わる 3 つの文①～③の正誤の組み合わせとして正しいものを、下記の  
一覧の記号より選べ。また説明文 I～V に登場する「この人物」に関する小問にも答えよ。

	A	B	C	D	E	F	G	H
①	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
②	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
③	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

I この人物は、18 世紀半ばから後半にかけて活躍した。当初は、オーストリア大公の相続権をめ  
ぐり、プロイセンに敗北を喫したが、その後はフランスとの同盟に成功し、プロイセンと対抗し  
つつ、神聖ローマ帝国の実質的な「女帝」として政治に携わった。またオーストリア国内におい  
ては、啓蒙的諸改革を実施した。

- ①オーストリア継承戦争で、プロイセンはシュレスヴィヒ・ホルシュタインを獲得した。
- ②この人物の娘マリ＝アントワネットは、のちのフランス国王ルイ 15 世の王妃となった。
- ③神聖ローマ帝国は、ナポレオンによるライン同盟の結成によって消滅した。

問 i : この人物に関する次の文 X・Y の正誤の組み合わせを次の①～④から選び、記号で答えよ。

X 息子ヨーゼフ 2 世は「君主は国家第一の下僕」という言葉で有名な啓蒙専制君主である。

Y ロシアのエカチェリーナ 2 世とともに第 1 回ポーランド分割に参加した。

- ① X－正 Y－正    ② X－正 Y－誤    ③ X－誤 Y－正    ④ X－誤 Y－誤

II この人物はフランスの名門貴族の出身であった。19 歳のときにアメリカ独立戦争が始まると、  
義勇軍を率いて参戦し、ワシントンのもとで活躍した。フランス革命初期には人権宣言の起草に  
関わり、「両大陸の英雄」とも称された。その後は、紆余曲折を経て政治生命を失うが、七月革命  
の際に政治の舞台に復帰し、ルイ＝フィリップを支持した。

- ①ヨークタウンの戦いによって植民地側は、独立戦争における勝利を確定的なものにした。
- ②国民議会が採択した人権宣言には、立憲君主政や制限選挙などが定められている。
- ③七月革命の影響をうけ、南ネーデルランドがベルギーとして、オランダから独立した。

問 ii : この人物は、フランス革命時にフイヤン派に所属した。フイヤン派の説明として適切なもの  
を選べ。

- ① 国王支持派で、三部会では、身分別議決法を主張した。
- ② 立憲君主派で、立法議会では右派（保守派）を形成した。
- ③ 穏健共和派で、立法議会では左派（革新派）を形成した。
- ④ 急進共和派で、国民公会では主導権を握った。

Ⅲ この人物は、フランスのロマン主義絵画の代表的な画家である。ギリシア独立を訴えた『キオス島の虐殺』は、そのリアルな描写から「絵画の虐殺」と称された。また 1830 年に描いた『民衆を導く自由の女神』も有名である。なお、この人物の実父は、ウィーン会議のフランス代表だったタレーランだったという有力な説がある。

- ①ウィーン会議でタレーランは、各国の革命前の体制復活をめざす神聖同盟を主張した。
- ②ギリシア独立戦争後、ムハンマド=アリーは、シリアの支配を求めてオスマン帝国と戦った。
- ③七月革命の波及を恐れたイギリス政府は、第 1 回選挙法改正で審査法を廃案にした。



問Ⅲ：右の絵画は『民衆を導く自由の女神』である。画家は、画面中央の女神に三色旗を掲げさせている。画家は、この三色旗を描くことで、どのようなことを強調しているのか。1830 年の状況をふまえて簡潔に説明せよ。

Ⅳ この人物はイギリスの初期社会主義者である。自分自身が徒弟から出発し、紡績工場の支配人、そして経営者となる過程で人道主義的な工場経営を実践した。1820 年代後半にはアメリカ合衆国に渡り、共産社会の設立をこころみだが、失敗してしまう。しかし帰国後も、生活協同組合の設立を提唱するなど、労働者の生活改善に尽力した。

- ①1829 年、合衆国大統領ジャクソンが欧米両大陸間での相互不干渉を主張した。
- ②工場で働く子供の保護のために、1833 年の工場法には工場監督官の設置が定められた。
- ③イギリスでは 19 世紀中ごろ、民衆の参政権獲得をめざすチャーティスト運動が展開された。

問Ⅳ：下の 4 つの出来事のなかから、この人物の生きた時代（1771～1858 年）の出来事として適切なものを 3 つ選び、古い順に記号で並べよ。

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| あ マルクスとエンゲルスの『共産党宣言』出版 | い アダム=スミスの『諸国民の富』出版 |
| う ジョン=ケイの飛び杼の発明        | え ムガル帝国の滅亡          |

Ⅴ この人物は、イギリスのジェントリ階層出身であった。看護婦が病人の世話をする召使いと見なされていた時代に、正規の看護訓練を学び、クリミア戦争に従軍した。戦地では野戦病院の改革に尽力し、負傷兵の死亡率を著しく低下させた。帰国後は、統計に基づいた医療衛生改革を訴え、近代的な（宗教組織とは無縁の）看護学校を設立した。

- ①クリミア戦争敗北後、ロシアでは、農奴解放などの近代化が進められた。
- ②クリミア戦争に参戦したフランスのナポレオン 3 世は、パリの大改造を実施した。
- ③クリミア戦争に参戦したサルデーニャは、ビスマルクのもとイタリア統一を達成した。

問 v : この人物 (1820~1910 年) とほぼ同じ時代を生きたのがイギリスのヴィクトリア女王 (1819~1901 年) である。ヴィクトリア女王の在位中 (1837~1901 年) にあった世界各地の出来事として適切なものを 3 つ選び、古い順に記号で並べよ。

あ デカブリストの乱

い アロー戦争の開戦

う 南北戦争の開戦

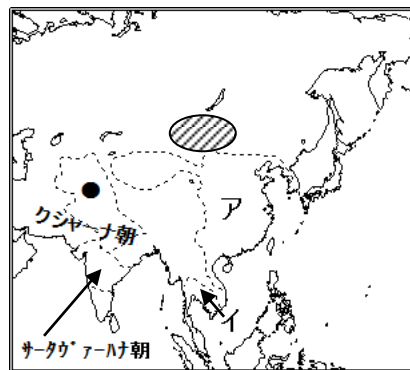
え スエズ運河の開通

5 古代のアジアについて述べたA、Bの文章をよく読み、各問いに答えよ。

A 気候変動が人類の歴史に影響を及ぼしてきたことは、現在では広く知られている。1783年のアイスランド・ラキ山と浅間山の大噴火が、フランス革命の遠因になったことはつとに有名である。1990年代以降、海底の堆積物や氷床などの分析から古気候を推定する技術が格段に進んだ。それによると、地球は8000年前頃から長期にわたる温暖期が続いたあと、5000年前頃から寒冷化に向かい、気候は数百年ごとに大きく変動するようになったらしい。たとえば(a) 厳しい寒冷期となった紀元前8世紀頃に、中央ユーラシアでは乾燥化が進行したため遊牧民が牧草地を求めて移動せざるを得なくなった。このことは周辺の農耕民にも少なからぬ影響を及ぼした。

紀元前3世紀頃になると温暖化が進行するが、その原因は太陽活動の活発化だと考えられている。この頃からヨーロッパでは耕作適地が北方に広がり、中央アジアでは降水量が増加して遊牧民の活動がさかんになった。オアシス都市も発展し、(b) シルクロード交易が活性化した。右地図Iは温暖化の進む紀元2世紀頃のアジアを示したものである。

地図 I



問1 下線部(a)の時期におこったことを、次の①～④のうちから1つ選べ。

- ① アーリヤ人がガンジス川流域に進出し始めた。
- ② マガダ国とコーサラ国が優勢になった。
- ③ 趙や燕、秦が長城を建設した。
- ④ 周が都を洛邑に移した。

問2 下線部(b)を背景に、地図Iの●では右のような像が製作された。

この像の特徴は何か、下線部(b)を踏まえたうえで答えよ。



『詳説 世界史図録第2版』  
山川出版社, p. 30

問3 次の文①～⑤は、地図Iの (斜線) を勢力圏とした匈奴と鮮卑について説明したものである。このうち、匈奴について述べたものをすべて選べ。

- ① 均田制を創設した。
- ② 月氏を西方へ駆逐した。
- ③ 黄河流域の洛陽を都とした。
- ④ 太武帝が華北を統一した。
- ⑤ 冒頓単于によって統一された。

- 問4 地図Ⅰの「ア」でおこった次の出来事を、年代の古い順に正しく並べたものを後の①～⑥のうちから1つ選べ。
- A 党錮の禁がおこった。  
 B 班超が西域都護になった。  
 C 倭の奴国から使節が訪れた。
- ① A → B → C      ② A → C → B  
 ③ B → A → C      ④ B → C → A  
 ⑤ C → A → B      ⑥ C → B → A

問5 地図Ⅰの「イ」の勢力が保有した港オケオがあった場所から、ローマ貨幣や後漢の鏡が出土している。このことから推定されることを1行以内で書け。

B 「夏五月の辛丑（しんちゅう）の朔に、詔して、『食は天下の本である。黄金が万貫あったところで飢をいやすことはできず、白玉が千箱あったところで冷（寒さにこごえること）を救うことはできない。・・諸郡に命じて屯倉の稲穀をわかち移し、那津のほとりに集めて建物を立てて非常に備え、のちのちまで民の命とするようにせよ。・・』と言われた。」

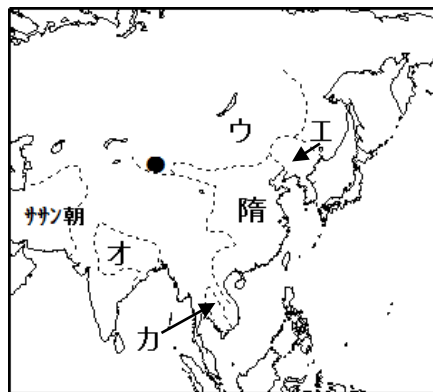
『日本書紀』宣化天皇元年条

\*井上光貞による現代語訳（『日本書紀 下』中央公論社、1987年、pp.39-40）

この史料は(c)西暦536年の記事だが、日本で深刻な食糧不足が起こっていたことがうかがえる。他にも同じような記事が『三国史記』高句麗本紀や『西魏書』、『梁書』などに記されており、東ローマ帝国やイタリアではこの前後の年に太陽と月が霞んでしまったという記録が残されている。この天候異変の痕跡は世界各地の植物の年輪から見つかっているが、この原因としては、中米エルサルバドルのイロパング湖で起きた大噴火が、近年有力視されている。この噴火により大量の噴出物がエアロゾルとなって大気中にたどり、地球規模で日射量を減少させたようである。このいわゆる「火山の冬」により、長期にわたる寒冷化と乾燥化が進行したと考えられるのである。

このような寒冷化が進行する中、6世紀のアジア（右地図Ⅱ）では各地で紛争や勢力交替がおこった。

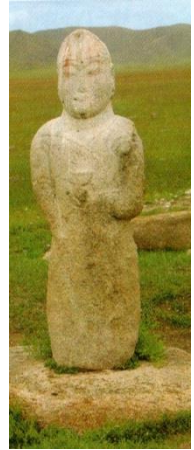
地図Ⅱ



- 問6 下線部(c)の頃の状況について正しく述べたものを、次の①～④のうちから1つ選べ。
- ① 日本で仏教寺院の建設がさかんにおこなわれていた。  
 ② 朝鮮半島で百濟など3国が対立、抗争していた。  
 ③ 華北に五胡が侵入し、各地に建国していた。  
 ④ ジャワでボロブドゥールの建設が始まっていた。



問7 次の文章は、**地図Ⅱ**の●で発見された石人像（右写真）について述べたものである。空欄に適切な語句を入れよ。



この像は、[ A ]がモニュメントとして6世紀後半に建造したものとされており、下部には[ B ]文字が刻まれている。[ A ]は6世紀中ごろアルタイ山脈の西南に興り、寒冷化のため弱体化したアヴァール人を西方へ逐い、また中央アジアで勢力を誇っていたエフタルをササン朝と提携して滅亡させ、大遊牧国家を築いた。この民族を建国当初から政治・経済面で支えたのが[ B ]である。彼らは古くから国際商業で活躍し、8世紀には唐に進出して各地に拠点を築き商業ネットワークを築いている。

『最新世界史図説タペストリー18訂版』帝国書院， p.96

問8 6世紀末に成立した隋は、現在の杭州から北京にいたる大運河を建造した。その目的は、**地図Ⅱ**の「エ」への遠征ともう一つは何か。簡潔に答えよ。

問9 **地図Ⅱ**の「オ」は、エフタルから攻撃を受けたことなどにより衰退した王朝である。この王朝について正しく述べた文を次の①～⑤からすべて選べ。

- ① サンスクリット語を公用語とした。
- ② 菩薩信仰が生まれるなど仏教に革新がおこった。
- ③ 王はダルマによる統治をめざした。
- ④ ヒンドゥー教が社会に定着した。
- ⑤ ガンジス川流域のカナウジに都をおいた。

問10 **地図Ⅱ**の「カ」は、6世紀にクメール人が**地図Ⅰ**の「イ」を倒して建てた国である。「イ」と「カ」の国名を書け。

6 10世紀から18世紀にかけての、東アジアにおける貨幣および経済政策の変遷について述べた次の文章を読み、下の設問に答えよ。

960年に中国を再統一した宋は、(a) 中央集権的な体制を整える過程で、諸国が独自に発行していた銭貨の統一をはかった。政府が鑄造した統一銭貨は、(b) 農産物や商品の市場での流通の拡大を支えた。しかし、貨幣需要の急速な高まりに対する原材料の不足や銅銭の国外流出が、流通銭貨の不足を招いた。この不足を補うため、世界で最初の公的紙幣である「交子」が発行された。南宋も、北宋の通貨制度の骨子を引き継いだ。北宋時代から続く通貨需要の増大に加え、官民の退蔵や鑄つぶしや(c) 周辺諸国への流出のため、銅銭はさらに不足した。

13世紀初めに(d) ユーラシアの東西を支配したモンゴル帝国は、フビライ=ハンの治世に東方に中心を移し、国号を中華風に(e) 元と改め、やがて中国を統一した。元は銅銭の使用を禁止し、不換紙幣による「紙幣本位制度」を導入した。元朝の紙幣制度は、14世紀半ばまでは比較的安定した流通状況が続いていたが、元末に紙幣が濫発され、崩壊した。

1368年に成立した明は、当初銅銭のみを通貨としていたが、銅銭の不足から1375年に紙幣を発行し、1394年に銅銭の使用を禁じた。3代目(f) 永楽帝の時代には、永楽通宝が発行されたが、国内では銅銭の使用が禁止されていたことから、(g) 対外的な使用を目的とした貨幣とみられる。(h) 明代後半になると、日本銀やメキシコ銀が流入し、国内で銀の流通が拡大した。それをうけて、明では銀納を認める税制が導入された。

明代の税制は(i) 清においても踏襲されたが、貧農の増加や虚偽の申告、郷紳層の免税権乱用などにより、徴税が困難になった。そこで人頭税を地税に組み込んで一括徴収する(j) 新たな税制が導入された。19世紀前半までは清からイギリスに茶、絹、陶磁器などが輸出され、イギリスがその対価を銀で支払っていたことから、大量の銀が清に流入していた。しかし、イギリスによってアヘン貿易が開始されると、銀がアヘンを購入するために支払われ、中国内の銀の保有量は激減した。

問1 下線部(a)について、宋代初期にとられた中央集権化について述べた文として正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

- ① 律・令・格・式の法体系が完成された。
- ② 中書省を廃して六部を皇帝直属とした。
- ③ 科挙の最終試験として殿試を導入した。
- ④ 租税台帳である賦役黄冊が作成された。

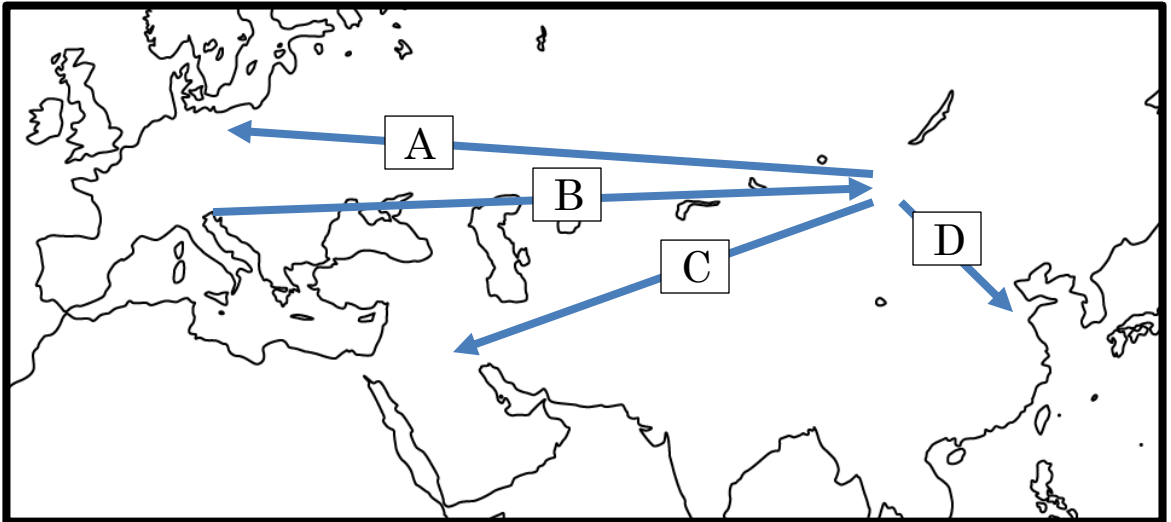
問2 下線部(b)に関して、宋代の農業および商業について述べた文として正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

- ① 日照りに強い占城稻が導入されたことで、収穫が安定した。
- ② 手形として発生した交鈔が、紙幣として使用されるようになった。
- ③ 山西商人や徽州商人など、政府と結びついた特権商人が巨万の富を築いた。
- ④ 長江下流地域が穀物生産の中心地となり、「湖広熟すれば天下足る」と言われた。

問3 下線部(c)について、北宋または南宋と同時期に存在した周辺諸国について述べた文として正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

- ① 吐蕃は靖康の変を起こして華北を占領し、北宋を滅ぼした。
- ② 契丹は後梁の建国を助けた代償として、燕雲十六州を獲得した。
- ③ 北宋は西夏との間で、毎年絹や銀を西夏に贈る澶淵の盟を結んだ。
- ④ 完顔阿骨打が建国した金には、猛安・謀克という軍事・社会組織が存在していた。

問4 下線部(d)について、次の地図に示された矢印A～Dは、モンゴル帝国時代の人々の動きを簡潔に示したものである。矢印A～Dの説明として正しいものを、次の①～④から1つ選べ。



- ① A：バトゥがヨーロッパ遠征を行った。
- ② B：教皇の命を受けたモンテ=コルヴィノが大都に至った。
- ③ C：バグダードが占領され、マムルーク朝が滅亡した。
- ④ D：チンギス=ハンが金を滅ぼした。

問5 下線部(e)について、元について述べた文として正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

- ① かつて南宋の支配下にあった人々は漢人と称された。
- ② 海上貿易が発展し、杭州や泉州・広州などの港湾都市が繁栄した。
- ③ ジャワ島に侵攻したが、シンガサリ王国の抵抗をうけ、撤退した。
- ④ 当初は儒学が重視され、科挙が頻繁に行われたが、のちに停止された。

問6 下線部(f)の人物について述べた文として正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

- ① のちに政務の最高機関となる軍機処を設置した。
- ② 里甲制を実施し、六諭を定めて里ごとに唱えさせた。
- ③ 鄭和率いる大艦隊に、アフリカ沿岸まで至る遠征を行わせた。
- ④ ジュンガルを滅ぼして、東トルキスタン一帯を「新疆」として支配した。

問7 下線部(g)について、明の対外関係について述べた文として正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

- ① 明から独立した陳朝大越国は、その後明との間で朝貢関係を結んだ。
- ② 朝貢国のひとつであった朝鮮では、世宗の時代に訓民正音が制定された。
- ③ 北山王によって統一された琉球は、明の冊封体制のもと、中継貿易で繁栄した。
- ④ マラッカ海峡を支配したシュリーヴィジャヤ王国は、明への朝貢貿易の拠点となった。

問8 下線部(h)について、16世紀中頃以降、明は「北虜南倭」の状態に苦しめられることとなった。「北虜南倭」に関して述べた文X、Yの正誤の組合せとして正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

X 後期倭寇は、明の海禁策に反発する中国人が主体であった。

Y アルタン=ハン率いるオイラト軍が、正統帝を捕虜とする事件が起こった。

- ① X-正 Y-正    ② X-正 Y-誤    ③ X-誤 Y-正    ④ X-誤 Y-誤

問9 下線部(i)について、次のA～Cの文が示すこの王朝の最盛期の出来事を、古いものから並べたとき、順番として正しいものを下記の①～⑥から1つ選べ。

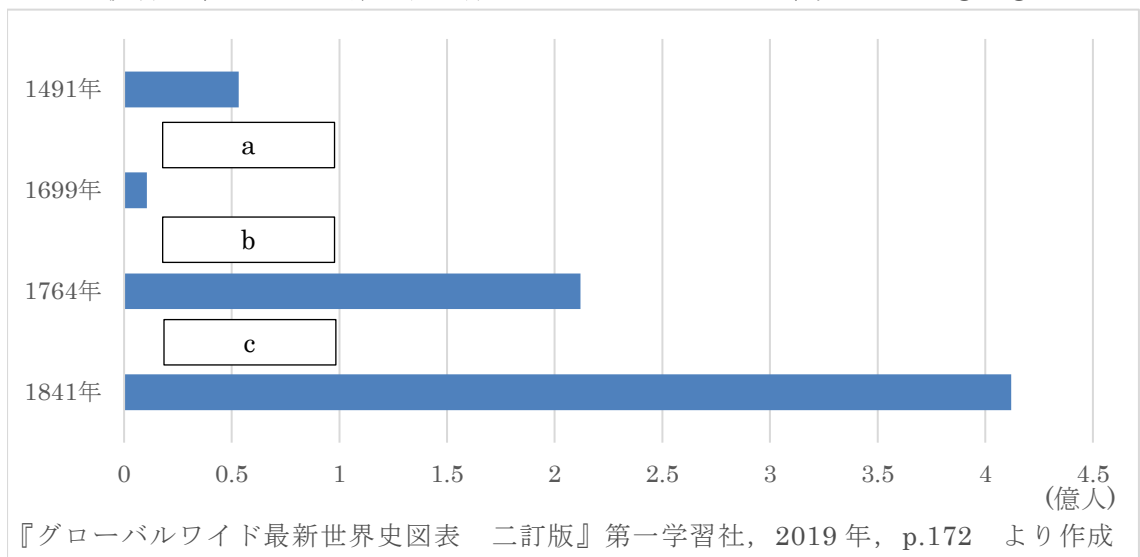
A ヨーロッパ船の来航を広州1港に制限した。

B 鄭氏を降伏させ、その拠点であった台湾を領土とした。

C キリスト教の布教が全面的に禁止された。

- ① A → B → C    ② A → C → B
- ③ B → A → C    ④ B → C → A
- ⑤ C → A → B    ⑥ C → B → A

問10 下線部(j)について、次のグラフは地方官僚が都に報告した人口調査の結果に基づいて、明から清の中国人口の推移を示したものである。清代に導入された新たな税制と、表中でこの税制が導入された時期の組み合わせとして正しいものを、次ページの①～⑥から1つ



	新たな税制	導入された時期		新たな税制	導入された時期
①	一条鞭法	a	④	地丁銀制	a
②	一条鞭法	b	⑤	地丁銀制	b
③	一条鞭法	c	⑥	地丁銀制	c

7 次の文章はモンゴル帝国の歴史書に収録されたガザン=ハンの勅許状の抜粋である。これを読んで下の設問に答えよ。

モンゴル軍人に (a) イクターを授与する件の勅令の写し

慈悲深く慈愛あつき (ア) の名において、

最高の (ア) の力により、

(b) ムハンマド信徒の安寧のために、

スルタン=マフムード=ガザンの命令。

母たち、兄嫁たち、妻たち、娘たち、婿たち、(c) 万戸・千戸・百戸・十戸の官人たち、(d) スルタンたち、支配者たち、書記官たち、アム川から(e) ミスルの境界に至る全地域のすべての者よ、知れ。

最高・至聖の神の力により、我らの太祖(f) チンギス=ハンは (中略) 己のモンゴル軍をもって、(g) 地の広がりゆく果てまで世界中を東と西とすべて解放し、清浄にし、時代の歴史に良き名と不朽の名声とを書きとどめた。

(本田実信『モンゴル時代史研究』東京大学出版会、1991年、pp. 238-239より抜粋)

問1 この命令書を発した政権の中心地として正しい場所を次の①～④から一つ選べ。



問2 この歴史書を編纂した人物を次の①～④から選べ。

- ① フワーリズミー
- ② イブン=バットゥータ
- ③ ラシード=アッディーン
- ④ イブン=ハルドゥーン

問3 下線部(a)について、イクター制について述べた次の①～④のうち、正しいものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① イクターは主にスーフィーに与えられた。
- ② イクターを与えられた者は、国家から現金で俸給を得ることが定められた。
- ③ アイユーブ朝はシリアでイクター制を施行した。
- ④ オスマン帝国はイクター制と同様のザミンダーリー制を導入した。

問4 空欄（ア）にあてはまる語句として正しいものを次の①～④から選べ。

- ① アッラー
- ② カリフ
- ③ イマーム
- ④ シャー

問5 下線部(b)について、この人物について述べた次の①～④のうち、正しいものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① ムハンマドはユダヤ教とキリスト教でも預言者とされている。
- ② ムハンマドと弟子たちが迫害を逃れてメッカに移住したことをヒジュラという。
- ③ ムハンマドはニハーヴァンドの戦いでササン朝を破り、イランを征服した。
- ④ シーア派の人々はムハンマドの娘婿であるアリーの子孫が指導者にふさわしいと主張した。

問6 下線部(c)について、これは遊牧国家に見られる十進法組織である。遊牧民が主たる軍事力の担い手となったイスラーム国家について述べた次の①～④のうち、正しいものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① ガズナ朝は積極的に北インドへの進出を試みたが、デリー=スルタン朝に阻まれた。
- ② ウズベク人はティムール朝を滅ぼし、後にブハラ=ハン国を建国した。
- ③ ムガル帝国の文学作品は、公用語であるアラビア語によって主に作成された。
- ④ アッバース1世はサファヴィー朝を建国し、首都をイスファハーンに定めた。

問7 下線部(d)について、スルタンについて述べた次の①～④のうち、正しいものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① ブワイフ朝の君主はバグダードに入城したが、スルタンの称号を拒否した。
- ② セルジューク朝のアイバクは、カリフよりスルタンの称号を与えられた。
- ③ マムルーク朝はアッバース家の一員をスルタンにすえ、その守護者の地位を確立した。
- ④ オスマン帝国の君主はスルタンを名乗り、スンナ派の盟主として振る舞った。

問8 下線部(e)について、ミスルとは本来「軍営都市」を意味するが、転じてエジプトを指す固有名詞としても用いられた。エジプトの歴史に関する次の①～④うち、正しいものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① 10世紀以降、カイロがイスラーム=ネットワークの中心となった。
- ② 11世紀にフィルドゥスィーがアレクサンドリアで『ルバイヤート』を執筆した。
- ③ 12世紀にムラービト朝はエジプトに首都マラケシュを建設した。
- ④ 16世紀にオスマン帝国のスレイマン1世がエジプトを支配下に置いた。

問9 下線部(f)について、チンギス=ハンは後の歴史に大きな影響を及ぼした。それについて述べた次のX・Yの正誤の組み合わせを次の①～④から選び、記号で答えよ。

X イヴァン3世はチンギス家の女性と結婚し、モンゴル帝国の後継者を名乗った。

Y ティムールはチンギス=ハンの子孫を名乗り、ハーンに即位した。

- ① X-正 Y-正    ② X-正 Y-誤    ③ X-誤 Y-正    ④ X-誤 Y-誤

問 10 下線部(g)について、モンゴル帝国の対外戦争に関する次のA～Cを年代順に並べると下の

①～⑥のどれになるか、記号で答えよ。

A アッバース朝を滅ぼした。

B ワールシュタットの戦いに勝利した。

C ホラズム朝を滅ぼした。

① A → B → C                      ② A → C → B

③ B → A → C                      ④ B → C → A

⑤ C → A → B                      ⑥ C → B → A



8 次の新聞記事を読んで、下の設問に答えよ。

英オックスフォード大学オリオルカレッジは17日、同校の建物外壁に設置されている19世紀の大英帝国の政治家、セシル＝ローズ（1853～1902）の像の撤去を決めた。ローズは(a) アフリカで英国の植民地拡大を推進した植民地主義者・帝国主義者として知られている。像を問題視する声が以前からあったが、米国の黒人男性暴行死事件への抗議活動が活発化する中、撤去を求める声が再び強まっていた。(b) 現在の南アフリカに渡ったローズは金や [ ] の採掘によって巨万の富を築き、英ケープ植民地政府の首相などを務めた。また、アジアにおける英国の植民地経営を担った(c) 東インド会社を模した「(d) 南アフリカ会社」を設立。一方で、ローズはオックスフォード大に対し多額の寄付を行い、ローズの遺産を元に始まった(e) 留学生向けの奨学金で同大大学院で学んだ「ローズ奨学生」は、クリントン元(f) 米大統領ら各界のリーダーを多数輩出している。黒人男性暴行死事件をきっかけに米国で「ブラック・ライブズ・マター（黒人の命は大事だ）」をスローガンとする(g) 差別撤廃運動が広がる中、英国では運動に共感するデモが相次ぎ、今月7日には英南西部(h) ブリストルで17世紀の奴隷商人の像が引きずり下ろされ、湾内に投げ入れられた。ロンドンの(i) 英議会前に立つ第二次大戦時の首相(j) チャーチルの像の台座には「人種差別主義者」との落書きがされ、一時、像が防護壁で囲まれる事態となった。

『毎日新聞（電子版）』2020年6月20日

問1 下線部(a)に関して、アフリカにおけるヨーロッパ各国の植民地拡大の原則を定めたベルリン会議（1884～1885）開催以前の出来事を、次の中から1つ選び記号で答えなさい。

- ① ファショダ事件
- ② リベリア共和国の成立
- ③ 南アフリカにおけるアパルトヘイト制度の導入
- ④ アルヘシラス国際会議の開催

問2 上記のベルリン会議を主宰したドイツ帝国首相の名前を答えなさい。

問3 下線部(a)に関して、アドワの戦いでイタリアに勝利し、ヨーロッパ諸国の植民地にならなかったアフリカの国を答えなさい。

問4 下線部(b)に関して、セシル＝ローズが画策したトランスヴァール、オレンジ両国の併合は、南アフリカ戦争を経て実現した。この戦争が戦われていた時期の出来事として正しいものはどれか。1つ選び記号で答えなさい。

- ① パナマ運河の完成
- ② 青年トルコ革命
- ③ 日英同盟の締結
- ④ 三国干渉

問5 下線部(c)に関して、東インド会社の説明として誤っているものを1つ選び記号で答えなさい。

- ① インド産のキャラコのヨーロッパへの輸出で大きな利益を上げた。
- ② 茶の輸入量が増加し対中国貿易では輸入超過となり、金の流出を招いた。
- ③ インド綿の需要が中国ではあまりなかったため、かわりにアヘンを輸出した。
- ④ ベンガル地方などで徴税権を獲得し、貿易会社から統治機構に変化した。

問6 下線部(c)に関して、東インド会社の解散以降に始まった出来事として、誤っているものを1つ選び記号で答えなさい。

- ① マフディー運動
- ② タバコ・ボイコット運動
- ③ ウラービー（オラービー）運動
- ④ ワッハーブ運動

問7 下線部(d)に関して、この会社が取得した土地の南部は、イギリスから一方的に独立を宣言した白人政権によって、ローズの名にちなんでローデシアと名付けられた。その後、アフリカ人の民族独立闘争の高まりの中で、1980年に現在の国名となった。正しい国名を1つ選び記号で答えなさい。

- ① ジンバブエ
- ② モロッコ
- ③ モザンビーク
- ④ リベリア

問8 下線部(e)に関して、ベトナム維新会のファン=ボイ=チャウが展開した、若者たちを留学させる運動と留学先の国の組み合わせとして、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。

- ① タンジマート — フランス
- ② タンジマート — 日本
- ③ ドンズー（東遊）運動 — フランス
- ④ ドンズー（東遊）運動 — 日本

問9 下線部(f)に関して、歴代大統領のうちカリブ海諸国に対するいわゆる「棍棒外交」を実施した大統領の名前を答えなさい。

問10 下線部(g)に関して、アメリカ合衆国では奴隷解放宣言の後も特に南部において黒人に対する人種差別が続いた。南部各州に残ったジム=クロウ法とよばれる人種差別法は最高裁判決「〇〇すれども平等」で合憲と判断された。〇〇に入る言葉を漢字2文字で答えなさい。

問11 下線部(h)に関して、奴隷貿易で栄えたブリストルは奴隷制廃止の後に衰退するが、20世紀初頭に新しい工場の建設とともに復興する。何を製造する工場であったと考えられるか。次の中から1つ選び記号で答えなさい。

- ① 食品
- ② 紡績
- ③ 航空機
- ④ コンピュータ

問12 下線部(i)に関して、1886年以降、3回にわたって議会で提出され、1914年に成立するも第一次世界大戦の勃発によって施行が延期された法律と、これを提案した当時の与党の組み合わせとして正しいものを1つ選び記号で答えなさい。

- ① 議会法 — 保守党
- ② アイルランド自治法 — 保守党
- ③ 議会法 — 自由党
- ④ アイルランド自治法 — 自由党

問13 下線部(j)に関して、チャーチルは1905年に植民地省政務次官、1908年には商務大臣に就任している。この時期のイギリスの政策として、誤っているものを1つ選び記号で答えなさい。

- ① 第1次モロッコ事件（タンジール事件）では、フランスへの対抗上ドイツを支援した。
- ② ロシアとの協商関係を築き、イランにおける両国の勢力範囲を画定した。
- ③ ハーグで開かれた第2回万国平和会議では、大韓皇帝高宗の密使の会議出席を認めない立場をとった。
- ④ カナダ連邦、オーストラリア連邦などの自治領が参加した植民地会議をイギリス帝国会議と改称した。

問 14 文中の [                    ] に入る語句を答えなさい。

問 15 セシル＝ローズが生きていた時期（生年 1853 年、没年 1902 年）の出来事としてあてはまらないものを次の中から 1 つ選び記号で答えなさい。

- ① 第 1 回近代オリンピックがアテネで開催された。
- ② アメリカ大陸横断鉄道が開通した。
- ③ ショパンが「革命」を作曲した。
- ④ ノーベルがダイナマイトを発明した。

9 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

1960年代初めの米国における平和運動は、核軍縮におもな関心を寄せ、SANE（正気の核政策をめざす全国委員会）などが中心となって、米ソ間の核軍縮や平和共存の実現を要求していた。それだけに、(a) 1962年10月のキューバ危機をへた翌年8月の、Aの締結を平和団体は歓迎したが、皮肉なことにそれは運動の停滞を招くことになった。

他方、(b) 1959年1月に発生したキューバ革命はソ連型とは異なる「第三世界型革命」として注目され、米国でも(c) ケネディ政権のキューバ制裁政策に抵抗して、キューバを支援するグループが1960年に誕生した。

平和運動の中で、マスティは、「アメリカの(d) ガンディー」とか「平和運動の長老」(Dean)と呼ばれ、党派をこえた信頼を集め、「大同団結」の要の役割をはたした。とくに、キリスト教的環境で育ちながら、旧左翼とも交流があり、戦後は非暴力主義の立場で平和運動に従事し、SANEや「非暴力行動委員会」(CNVA)の創設にも関わっただけに、さまざまなグループの橋渡し役に適していた。

マスティの後輩にあたるデリンジャーは、(e) 第二次世界大戦中に徴兵を拒否し、投獄された筋金入りの非暴力主義者で、出獄後は仲間とともに、『直接行動』という雑誌を出しはじめた。その創刊号で彼は、「ヒロシマとナガサキへの(f) 原爆投下は、合衆国が「民主主義国家」だとか、「平和愛好国」だなどといかに主張しようとも、その資格をすべて打ち壊すもの」と非難した。その後、革新的な出版物の印刷で生計を立てていたが、マスティの提案で(g) 1956年から『リベレーション』という雑誌を出しはじめた。ちょうどソ連では(h) スターリン批判がおこなわれたところで、非ソ連型の新しい革命論壇をめざす雑誌となった。この雑誌を基盤として、デリンジャーは(i) 公民権運動などの記事を多数執筆していった。また、米国政府のキューバ封鎖に反対する「キューバに対するフェアプレイを要求する委員会」を組織し、革命キューバの実態を米国に紹介する活動を推進した。

(油井大三郎『世界史リブレット 125 ベトナム戦争に抗した人々』山川出版社, 2017年, pp. 13-15より抜粋、出題にあたり一部変更)

問1 下線部(a)に関連して、キューバ危機後、米ソ両国は緊張緩和に転じ、その影響はヨーロッパにも広まった。1970年代に西ドイツでデタント（緊張緩和）を進めた人物を次の中から1つ選び番号で答えよ。

- ① アデナウアー    ② コール    ③ シュトレーゼマン    ④ ブラント

問2 下線部(b)に関連して、この革命で打倒された親米政権の指導者として正しいものを次の中から1つ選び番号で答えよ。

- ① バティスタ    ② バドリオ    ③ ペタン    ④ ペロン

問3 下線部(c)に関連して、この人物の説明として誤っているものを次の中から1つ選び番号で答えよ。

- ① カトリック教徒ではじめてのアメリカ大統領に就任した。  
② ニューフロンティア政策を掲げ、政権を民主党から共和党へと取り戻した。  
③ キューバ危機でソ連との武力衝突回避に成功し、平和共存を進めた。  
④ 公民権運動の高揚を背景に、公民権法案の成立に着手したが暗殺された。

問4 下線部(d)に関連して、ガンディーの支援を受け、国民会議派で議長を務めたのち、インドの初代首相に就任した人物の名前を答えよ。

問5 下線部(e)に関連して、第二次世界大戦後の国際社会において起きた次のA～Cの出来事を年代順に並べると下の①～⑥のどれになるか、記号で答えよ。

- A 国際連合の発足
  - B 世界人権宣言の採択
  - C チャーチルによる「鉄のカーテン」演説
- ① A → B → C      ② A → C → B  
③ B → A → C      ④ B → C → A  
⑤ C → A → B      ⑥ C → B → A

問6 下線部(f)に関連して、原水爆禁止世界大会と同じく 1955 年に開催された会議として正しいものを次の中から1つ選び番号で答えよ。

- ① アジア・アフリカ会議（バンドン会議）      ② ダンバートン・オークス会議  
③ パグウォッシュ会議      ④ 非同盟諸国首脳会議

問7 下線部(g)に関連して、1956年にある国で反ソ暴動が起き、当時の首相であったナジ=イムレがのちに処刑された。ある国とはどこか、次の中から1つ選び番号で答えよ。

- ① チェコスロヴァキア      ② ルーマニア      ③ ハンガリー      ④ ユーゴスラヴィア

問8 下線部(h)について、スターリン批判をおこなったソ連の共産党第一書記の名前を答えよ。

問9 下線部(i)に関連して、1964年、公民権法が成立した時のアメリカ大統領の名前を答えよ。

問10 文章中の A に当てはまる条約として正しいものを次の中から1つ選び番号で答えよ。

- ① 核拡散防止条約(NPT)      ② 中距離核戦力(INF)全廃条約  
③ 部分的核実験禁止条約(PTBT)      ④ 包括的核実験禁止条約(CTBT)

問11 第二次世界大戦後の文化について、次の文X・Yの正誤の組み合わせを次の①～④から選び、記号で答えよ。

X 原子爆弾の開発を進めたアインシュタインは、のちに核兵器禁止の平和運動を推進した。  
Y スプートニクショックを受けて、アメリカでは宇宙開発が進められた。

- ① X-正 Y-正      ② X-正 Y-誤      ③ X-誤 Y-正      ④ X-誤 Y-誤

10 感染症と人類の歴史に関する各文を読み、下の設問に答えよ。

A カール4世の時代に飢饉やペストの流行によってそれまで続いていた人口増が抑制され、ドイツでは1348年のペストの流行によって人口が3分の1に減少するという危機の時代を迎えた。ペストは1356年にも再び流行し、14世紀末まで途絶えることがなかった。(中略)ヨーロッパ全域でペストによる死者は3500万人といわれている。

(阿部謹也『物語ドイツの歴史』中公新書、1998年、p.73)

問1 下線部の人物が在世していた時期におきたできごととして正しいものを①～④より選べ。

- ① 金印勅書により、神聖ローマ皇帝を選ぶ資格が七選帝侯に認められた。
- ② コンスタンツ公会議においてフスが異端とされた。
- ③ アウクスブルクの宗教和議が成立し、ルター派の信仰が認められた。
- ④ ウェストファリア条約によりスイスの独立が認められた。

問2 ペストの流行による社会の変化として正しいものを①～④より選べ。

- ① イギリスでは、牧羊のためにエンクロージャー(囲い込み)が行われた。
- ② 労働力の不足から農民の待遇が改善され、自営農民が増加した。
- ③ ペスト対応の不善から国王への批判が高まり、国王権力が制限された。
- ④ 教会にすぎる人々が増え、ローマ教皇の権威が高まった。

問3 ペストは14世紀以降も断続的に流行と終息を繰り返し、20世紀においても流行が見られた。フランスのアルベール=カミュ(1913～1960年)は『ペスト』という小説でフランスの植民地における架空のペスト流行を描いた。その植民地とはどこか。正しいものを①～④より選べ。

- ① アルジェリア
- ② ナイジェリア
- ③ リビア
- ④ スーダン

問4 次の文中の空欄に入れる語の組合せとして正しいものを①～④より選べ。

東ローマ帝国（ビザンツ帝国）皇帝「あ」は、古代ローマ帝国の復活を夢見ていた。「あ」は『ローマ法大全』の編纂やハギア=ソフィア大聖堂の再建を行うと同時に、イタリア半島やアフリカへ外征し、古代ローマ帝国の地イタリアを帝国領土に復活させたりした。そんな「あ」の夢を砕いたのがペストだった。ペストは首都コンスタンティノープルを繰り返し襲った。特に542年の流行は「あ」のペストと呼ばれ、最盛期には首都コンスタンティノープルだけで一日一万人が死亡したという。（中略）同じ時期、中国でも人口の減少が記録されている。589年、「い」が南朝の陳を滅ぼし、西晋以来、405年ぶりに中国統一を果たした。統一を果たした「い」の皇帝は、大規模な土木工事に着手すると同時に北方の高句麗遠征を三度にわたって行った。（中略）その「い」の末期、610年に、ペストが流行したことが記録されている。

（山本太郎『感染症と文明—共生への道』岩波新書，2011年，p.58 一部改変）

- |                         |     |
|-------------------------|-----|
| ① あ—マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝 | い—隋 |
| ② あ—マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝 | い—宋 |
| ③ あ—ユスティニアヌス大帝          | い—隋 |
| ④ あ—ユスティニアヌス大帝          | い—宋 |

B 現在も死亡数が最も多い感染症は、結核とマラリアです。結核を発症させる結核菌は、感染したヒトを生き延びさせながら、咳やくしゃみをとおして別の人に感染するように進化したのです。

（中略）マラリアは、原虫によって引き起こされます。ヒトに感染するマラリア原虫は、最近発見された種を含め五種で、野生動物とくにサルのマラリア原虫に由来すると考えられています。

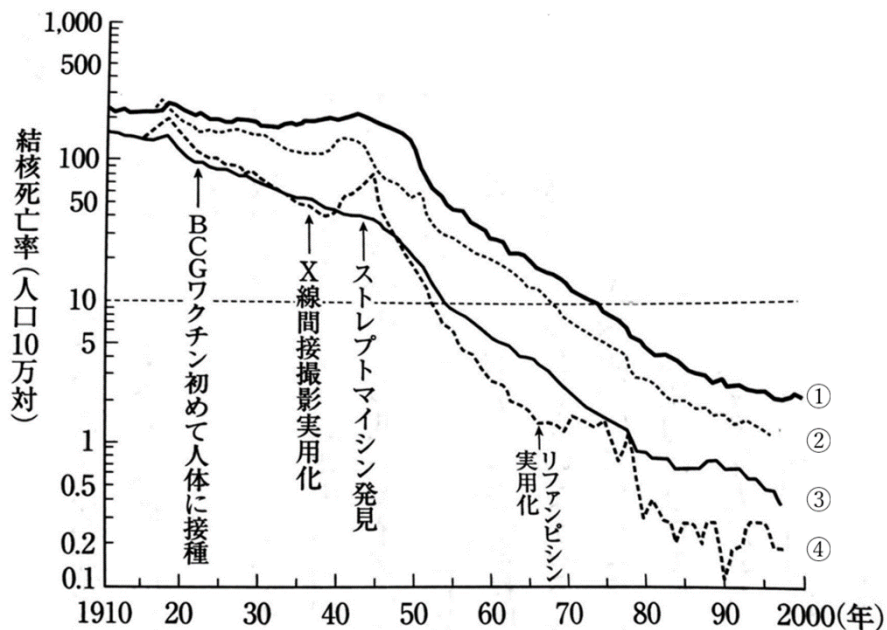
（大塚柳太郎『ヒトはこうして増えてきた 20万年の人口変遷史』新潮選書，2015年，pp.143-

144)

問5 結核菌は、ドイツの医師コッホにより1882年に発見された。同じ19世紀後半のできごととして誤っているものを①～④より選べ。

- ① キュリー夫妻がラジウムを発見した。
- ② パストゥールが狂犬病の予防接種を発明した。
- ③ レントゲンがX線を発見した。
- ④ ジェンナーが種痘法を開発した。

問6 次のグラフはアメリカ、フランス、オランダ、日本の4か国における結核死亡率の年次推移を示したものである。下の文を手がかりに、オランダにおける死亡率を示したグラフを①～④より選べ。



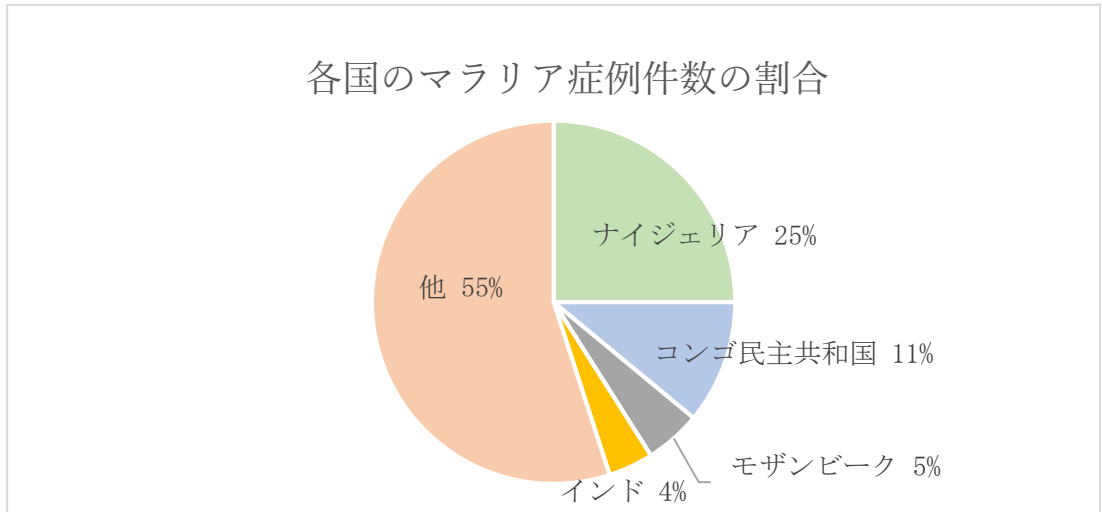
- ・アメリカでは第二次世界大戦中も死亡率が緩やかに減少し続けていた。
- ・フランスでは第一次世界大戦中に日本より死亡率が高くなったことがあった。
- ・オランダでは、ドイツ占領下において急激に死亡率が上昇した。
- ・日本における死亡率が初めて人口10万対10人以下になったのはリファンピシン（結核治療に用いられる抗生物質）実用化後であった。

問7 マラリアに対して治療薬キニーネ（アンデス原産のキナの樹皮から得られる成分）が開発されたことで、ヨーロッパによる植民地拡大は加速した。これに関連して、スタンリーによるリヴィングストン救出の時期として正しいものを以下の表に示した①～④から選べ。

①	
1815年	イギリスがケープ植民地を獲得した
1820年	キナの樹皮からキニーネを単離することに成功
②	
1854年	オランダがジャワ島にキナの農園を開く
③	
1899年	スーダンがイギリス・エジプトの共同管理下に置かれた
1907年	マラリア原虫発見の功績でフランス軍医のラブランがノーベル賞受賞
④	



問8 次のグラフは 2017 年におけるマラリア症例件数を示したものである。このグラフから読み取れる内容および、XとYの下線部について、正誤の組合せとして正しいものを①～④から選べ。



X インド洋交易で栄えたクシュ王国が支配していた領域が上位4か国に含まれている。

Y 2番目に症例件数の多い国は、20世紀初頭に国王の私領からベルギーの所有する植民地となった。

- ① X-正 Y-正    ② X-正 Y-誤    ③ X-誤 Y-正    ④ X-誤 Y-誤

C 2003年3月14日発行の専門誌『週刊疫学情報』に、中国、香港およびベトナムで発生した急性呼吸器症候群（SARS）に関する論文が掲載された。2月中旬以降、非定型肺炎が広東省、香港およびベトナムの首都ハノイで流行していること、細菌以外の病原体が疑われることが報告された。

2003年2月14日、WHOは、中国南部広東省で2002年11月16日から2003年2月9日の間に305名の肺炎患者が発生し5名が死亡したという短い警告を発した。同時に、原因は不明だが、炭疽、肺ペスト、レプトスピラ症、出血熱などは否定できたとの中国政府からの発表もあった。2月21日、広東省在住の65歳になる腎臓学の教授が妻と2人、香港メトロポールホテル9階に宿泊した。この教授は10日後に死亡するが、当日同ホテル9階に宿泊した客のうち少なくとも12名が感染した。ある感染者は、香港にある集合住宅に家族を訪ねたのちに、ある者はベトナムへ、ある者はカナダへ飛んだあとに肺炎を発症した。3月15日、新たな患者がシンガポールやカナダから報告された。WHO事務局長グロ・ハーレム・ブルントラントは、全世界に向けて、警告を発した。厳しい隔離対策がとられた。シンガポールでは、患者と接触した人には自宅待機が命じられ、違反のないようウェブカメラが備えつけられた。香港では、集合住宅アモイ・ガーデンが、まるごと隔離された。7月、約8000人の感染者と700人以上の死亡者を出し、流行は終息した。このウイルスの起源を知るために野生動物の調査が行われた。ハクビシン、タヌキ、中国アナグマなどから類似の新型コロナウイルスが分離された。コウモリが自然宿主である可能性も示唆された。SARSを引き起こしたウイルスは永遠に消えてしまったのか。あるいは、自然界のどこかで深い眠りにについているだけなのか。現時点では、誰にもわからない。

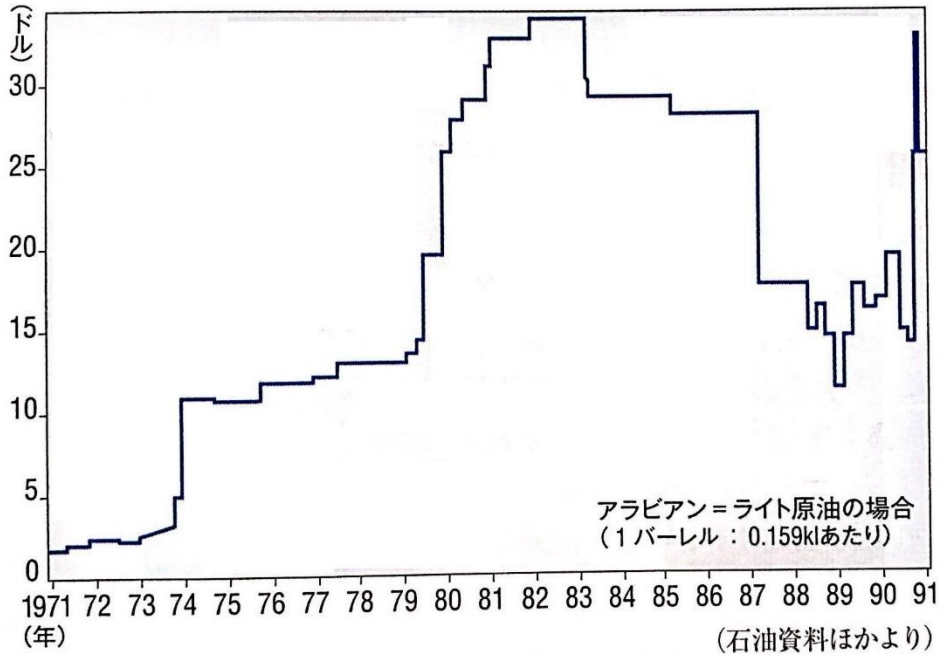
(山本太郎『感染症と文明—共生への道』岩波新書、2011年、pp.172-175 一部省略・改変)

問9 地図中の香港の位置および香港について述べた文として正しい組み合わせを次の①～④から選べ。



- ① (あ) —1842年の南京条約をきっかけにイギリスの植民地化が進み、1997年に中国へ返還された。
- ② (あ) —16世紀にポルトガルが明から居住権を与えられ、1999年に中国へ返還された。
- ③ (い) —1842年の南京条約をきっかけにイギリスの植民地化が進み、1997年に中国へ返還された。
- ④ (い) —16世紀にポルトガルが明から居住権を与えられ、1999年に中国へ返還された。

問10 2020年1月からはじまった新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大は経済活動の停滞を招き、原油価格の大幅な下落をもたらした。以下は原油価格を示したグラフである。グラフから読み取れる内容について述べたものとして正しいものを選び。



- X グラフ中で最も原油価格が高くなっていたのは第2次石油危機の時であった。  
 Y 1980年代以降、石油価格は第1次石油危機以前の価格に戻った。
- ① X-正 Y-正    ② X-正 Y-誤    ③ X-誤 Y-正    ④ X-誤 Y-誤

## 出典・参考文献

1

### <史料出典>

- 問7 『プルタルコス 英雄伝 4』(城江良和訳) 京都大学学術出版会 2015年 pp.225-226  
\*固有名詞に関しては、表記を改めている。(ポンペイユス → ポンペイウス)
- 問8 『世界の名著』5(松平千秋訳) 中央公論社 1977年 pp.101-102
- 問10 『プルタルコス 英雄伝 2』(柳沼重剛訳) 京都大学学術出版会 2007年 p.110

### <資料出典>

- 問7 オストラコン  
『グローバルワイド 最新世界史図表 二訂版』 第一学習社 2019年 p.80

2

### <図版出典>

- [https://en.wikipedia.org/wiki/St.\\_Peter%27s\\_Basilica](https://en.wikipedia.org/wiki/St._Peter%27s_Basilica)  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%94%E3%82%B5%E5%A4%A7%E8%81%96%E5%A0%82>  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B5%E3%83%B3%E3%83%BB%E3%83%9E%E3%83%AB%E3%82%B3%E5%AF%BA%E9%99%A2>  
(上記の最終閲覧日はいずれも 2020.8.14)
- [https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B1%E3%83%AB%E3%83%B3%E5%A4%A7%E8%81%96%E5%A0%82#/media/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB:Koelner\\_Dom\\_bei\\_Nacht\\_1\\_RB.JPG](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B1%E3%83%AB%E3%83%B3%E5%A4%A7%E8%81%96%E5%A0%82#/media/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB:Koelner_Dom_bei_Nacht_1_RB.JPG)  
(最終閲覧日 2020.11.15)

### <参考文献>

- 酒井健『ゴシックとは何か—大聖堂の精神史』講談社現代新書, 2000年  
パトリック・ドゥムイ(武藤剛史訳)『大聖堂』白水社, 2010年  
佐藤達生・木俣元一『図説 大聖堂物語 ゴシックの建築と美術』河出書房新社, 2011年

4

### <図版出典>

- 『民衆を導く自由の女神』の図版は、Wikipediaの項目『民衆を導く自由の女神』から引用。

6

### <参考文献>

- 軍司裕昭「宋代の紙幣—中国紙幣の源流—」『国史館大学政経論叢』6巻1号, 1994  
軍司裕昭「元代の紙幣」『国史館大学政経論叢』7巻3号, 1995  
高橋弘臣「南宋江南の貨幣—元朝貨幣政策との関連をめぐる考察—」『史学雑誌』105巻1号, 1996  
宮澤知之「明初の通貨政策」『鷹陵史学』28号, 2002

10

< 図表出典 >

- 問 6 結核死亡率の年次推移 山本太郎『感染症と文明—共生への道』岩波新書, 2011 年, p. 187  
一部改変
- 問 8 WHO 『World malaria report 2018』  
(<https://www.who.int/malaria/publications/world-malaria-report-2018/report/en/>  
p. 38, 2020 年 4 月 27 日閲覧 一部改変)
- 問 9 東アジア白地図『詳説世界史図録第 2 版 地図問題&白地図』山川出版社, 2018 年, p. 27  
一部改変
- 問 10 石油価格の変動『詳説世界史図録第 2 版』山川出版社, 2018 年, p. 254 一部改変